

令和 7 年 11 月 5 日

(資料提供)
石川県こころの健康センター
相談課長 道下 妙子
TEL 076-238-5750

石川こころのケアセンター事業
県民フォーラム いしかわこころのわ(輪・和・話)の開催について

1 開催趣旨

令和 6 年能登半島地震・奥能登豪雨から 1 年以上経過した今も心身への影響は続いており、特に節目を迎える時期は心身の状態が不安定になることが知られています。
大切な人や場所を失った悲しみを抱えている方が、どのようにこころの動きを受け止めて向き合うか、その周囲の方々ができることについて考える機会として、フォーラムを開催します。

2 開催日時

令和 7 年 12 月 20 日(土) 14 時 00 分～16 時 00 分

3 開催方法

ハイブリッド形式

会場：いしかわ総合スポーツセンター 会議室(金沢市稚日野町北 222 番地)
オンライン(申込後、参加案内を送ります)

4 内 容

講演及び質疑応答

テーマ：節目反応と喪失の悲しみ ～大切な人や故郷を支えに生きる～

講 師：瀬藤 乃理子 氏(兵庫県こころのケアセンター 上席研究主幹)

5 対象者

すべての方

6 参加費

無 料

7 主 催

石川県こころの健康センター・石川こころのケアセンター

8 申 込

石川県電子申請システムから申込(12 月 15 日(月) 〆切)

<https://ttzk.graffer.jp/pref-ishikawa/smart-apply/apply-procedure-alias/r71220grief>

9 問い合わせ先

石川県こころの健康センター 相談課

(TEL : 076-238-5750 MAIL : seisin.h@pref.ishikawa.lg.jp)

令和6年能登半島地震から2年。

県民フォーラム いしかわこころのわ（輪・和・話）



節目反応と喪失の悲しみ ～大切な人や故郷を支えに生きる～

○今回は、災害からの節目が近づくこの時期に起きる心の反応について、ご自身のグリーフとの付き合い方、喪失体験で悩んでいる身近な方への関わり方について学びます。

○「グリーフ（喪失の悲しみ・悲嘆）」とは…大切な人やものを失った時に生じる深い悲しみやその反応を指す言葉です。死別だけでなく、離別などの愛する人との別れ、住み慣れた家や故郷をなくすこと、健康を損なうことも喪失体験に含まれます。この感情は自然なものであり、通常は、時間の経過とともに和らぎますが、悲嘆を経験することで、それまでの生き方や価値観が変わることもあります。

日時 令和7年 **12月20日**（土） 14時～16時
会場 いしかわ総合スポーツセンター 2階 会議室
（金沢市稚日野町北222番地）

※オンラインでの参加可

ぜひ会場に
お越しください！

講師 兵庫県こころのケアセンター
上席研究主幹 瀬藤 乃理子 さん
（公認心理師、保健学博士）



- ・阪神淡路大震災（1995）では自ら被災し、その後、災害支援・災害研究に関わる。
- ・大学病院で小児科勤務のかたわら、東日本大震災（2011）後、東北被災地の支援に入る。
- ・2018年から福島県立医科大学に着任、2025年より現職。専門は、災害時の心のケア、遺族への支援、被災者への支援。

- ☐ 対象者 すべての方
- ☐ 参加費 無料
- ☐ お申込みは
こちら————→
（12月15日㊖）



- ・会場は150人限定、オンラインは50人限定の先着順とさせていただきます。
- ・QRコードでのお申込みが難しい場合は、電話またはメールにてお名前と連絡先をご連絡ください。

【お問い合わせ先】石川県こころの健康センター 相談課
TEL：076-238-5750／FAX：076-238-5762
E-mail：seisin.h@pref.ishikawa.lg.jp